

	心身の健康と安全	カリキュラム	オンライン活用
超短期的視点	<ul style="list-style-type: none"> ②電話で家庭連絡、希望者と個人懇談 ②学年団からの手書きメッセージ ③子どもが自分で見いだすことができる目的への変換 ④・⑤子どもとの関係の構築とケア ⑧久々に顔を合わせ1つの内容を共に考える「場」 ⑩生徒を笑顔にするエクササイズ動画 ⑫電話も駆使した健康観察と出欠確認 ⑬「アナログ」な対応も必要？ 	<ul style="list-style-type: none"> ①・②EVRI 的「挑戦状」 ③指導計画作成員会で家庭学習の内容を吟味 ④・⑤カリキュラムの再編 ④・⑤・⑥・⑦学校での学習に向けた過程での学習 	<ul style="list-style-type: none"> ①学習プリントに動画の QR コードを掲載(例:NHK) ③「学習ソフト」や保護者-学校間連絡用アプリの導入 ④・⑥外部メディアの活用 ⑦所有メディアの活用 ⑧Zoom 職員会議、G Suite Classroom 活用開始 ⑨おすすめ書籍一覧の配信 ⑫同時双方向的な関係の構築 ⑭レポート課題通知(郵送)
短期的視点	<ul style="list-style-type: none"> ①教科通信で家庭学習への労いと仲間の存在の実感 ②子どもと向き合う時間の確保(一緒に遊ぶ) ④生徒観の構築 ⑤学習の遅れへの配慮と予防・対策 ⑦授業内での感染対策 ⑩教師同士のグループラインでの交流 ⑬生徒のメンタルヘルスケア ⑭学びの中での生徒同士のつながりを感じる場 	<ul style="list-style-type: none"> ①家庭学習も生かした単元に再構成(例:クイズ) ②総合や特別活動の内容を子どもとともに見直し ③校長会で教育課程再編成の基本方針を提案 ④・⑤・⑥家庭学習と授業の接続 ⑤・⑦休校に伴う授業数変更への対応 ⑦感染予防の観点からのカリキュラム再編 ⑨新たな学習内容の授業構成 ⑪探究の成果をどう把握し評価するのか ⑫身につけさせたい力の明確化 ⑭レポート課題→自己評価ルーブリックの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ①ネットワークやコンピュータになれる時間をつくる ③GIGA スクール構想等の前倒し(4ヶ月後を見通し) ⑨生徒の回答を活かす授業づくり ⑬タイムリーなオンライン授業評価 ⑭Google Classroom を活用したレポート課題
中長期的視点	<ul style="list-style-type: none"> ⑬多様な価値観による重層的支援体制 	<ul style="list-style-type: none"> ①家庭学習も生かした単元に再構成 ②特別活動の内、少人数でできることの吟味 ⑥・⑦新たな視点からの教材開発 ⑩「週末課題の解説動画」の作成 ⑪手ごたえの整理と課題のリストアップ ⑬組織的なカリキュラム・マネジメント ⑭密を避ける形態でのものに再編成 	<ul style="list-style-type: none"> ⑥コロナ禍の授業の発展的継続 ⑧ICT を活用した授業展開や実践共有の検討 ⑩自宅学習とオンライン教材の関係 ⑪資料の準備や指示をより丁寧に ⑪学級を超えたフィードバック ⑪授業時間に囚われない探究的学習